

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成30年6月14日 (2018.6.14)

【公開番号】特開2016-212528(P2016-212528A)

【公開日】平成28年12月15日 (2016.12.15)

【年通号数】公開・登録公報2016-068

【出願番号】特願2015-93622(P2015-93622)

【国際特許分類】

G 0 6 F 21/62 (2013.01)

G 0 6 F 21/32 (2013.01)

【 F I 】

G 0 6 F 21/62 3 1 8

G 0 6 F 21/32

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月26日 (2018.4.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ユーザにより入力されたコマンドを取得するコマンド取得手段と、
前記コマンド取得手段により取得したコマンドの入力時の画像を取得する画像取得手段と、

前記画像取得手段により取得した画像に基づき、前記コマンド取得手段により取得したコマンドの実行を制御する制御手段と、
を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

コマンドと当該コマンドの監視ランクとを対応付けて記憶し、ユーザ毎にコマンドの監視権限を示すランクを対応付けて記憶する記憶手段をさらに備え、

前記制御手段は、前記コマンド取得手段により取得したコマンドの監視ランクに対応する監視権限を有するユーザが、前記画像取得手段により取得した画像に含まれている場合に、当該コマンドを実行することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記記憶手段には、コマンドと当該コマンドの監視ランクに、作業者が対応付けて記憶されていることを特徴とし、

前記制御手段は、さらに、前記コマンドに対応付けられた作業者により当該コマンドが入力された場合に、当該コマンドを実行することを特徴とする請求項 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

ユーザにより入力されたユーザ識別情報を取得する識別情報取得手段をさらに備え、

前記識別情報取得手段により取得したユーザ識別情報により特定されるユーザを前記作業業者として特定することを特徴とする請求項 3 に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

情報処理装置における情報処理方法であって、

前記情報処理装置のコマンド取得手段が、ユーザにより入力されたコマンドを取得するコマンド取得工程と、

前記情報処理装置の画像取得手段が、前記コマンド取得工程により取得したコマンドの入力時の画像を取得する画像取得工程と、

前記情報処理装置の制御手段が、前記画像取得工程により取得した画像に基づき、前記コマンド取得工程により取得したコマンドの実行を制御する制御工程と、
を備えることを特徴とする情報処理方法。

【請求項 6】

コンピュータを、

ユーザにより入力されたコマンドを取得するコマンド取得手段と、

前記コマンド取得手段により取得したコマンドの入力時の画像を取得する画像取得手段と、

前記画像取得手段により取得した画像に基づき、前記コマンド取得手段により取得したコマンドの実行を制御する制御手段として機能させるためのプログラム。